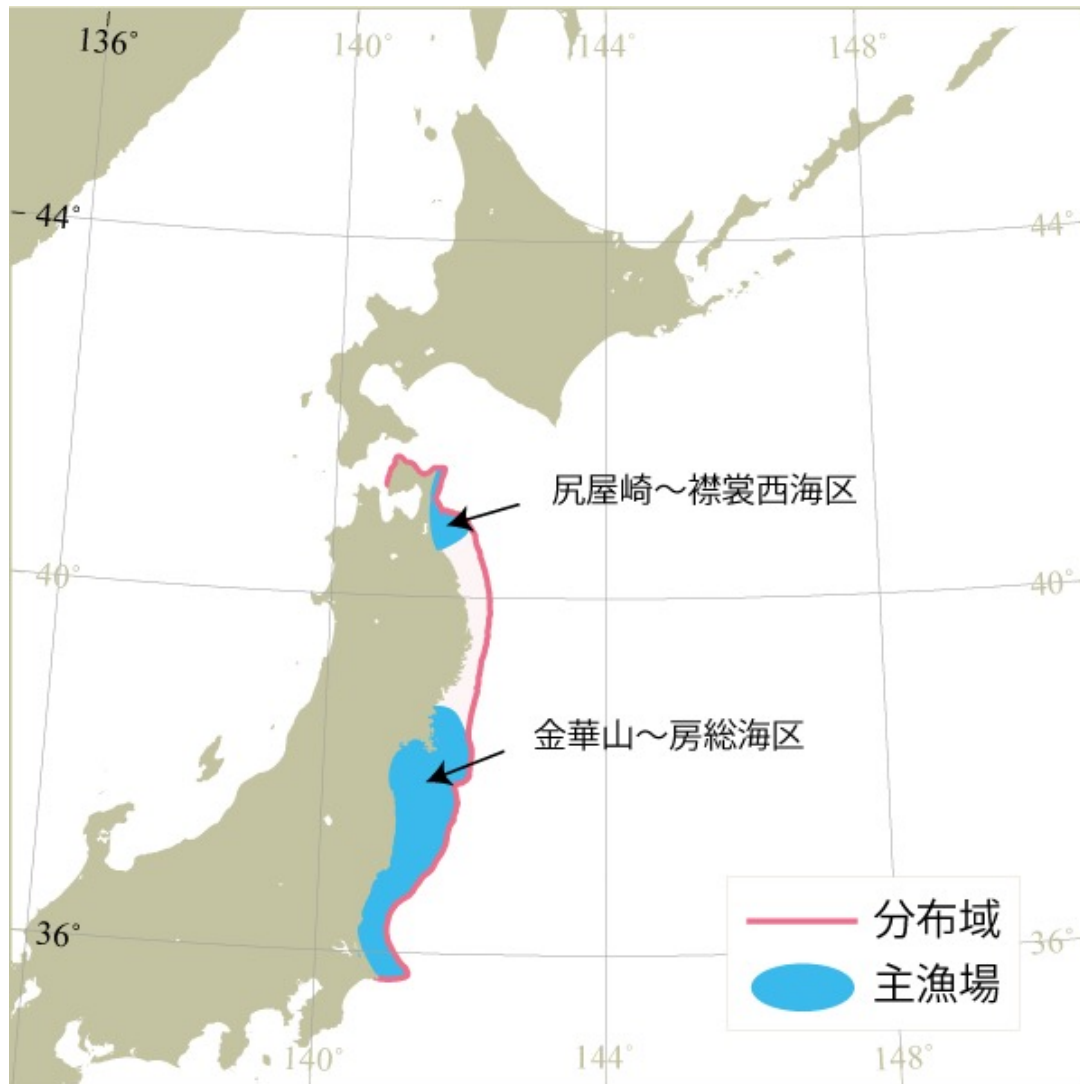




# キアンコウ太平洋北部 令和4年度資源評価結果

# 生物学的特性

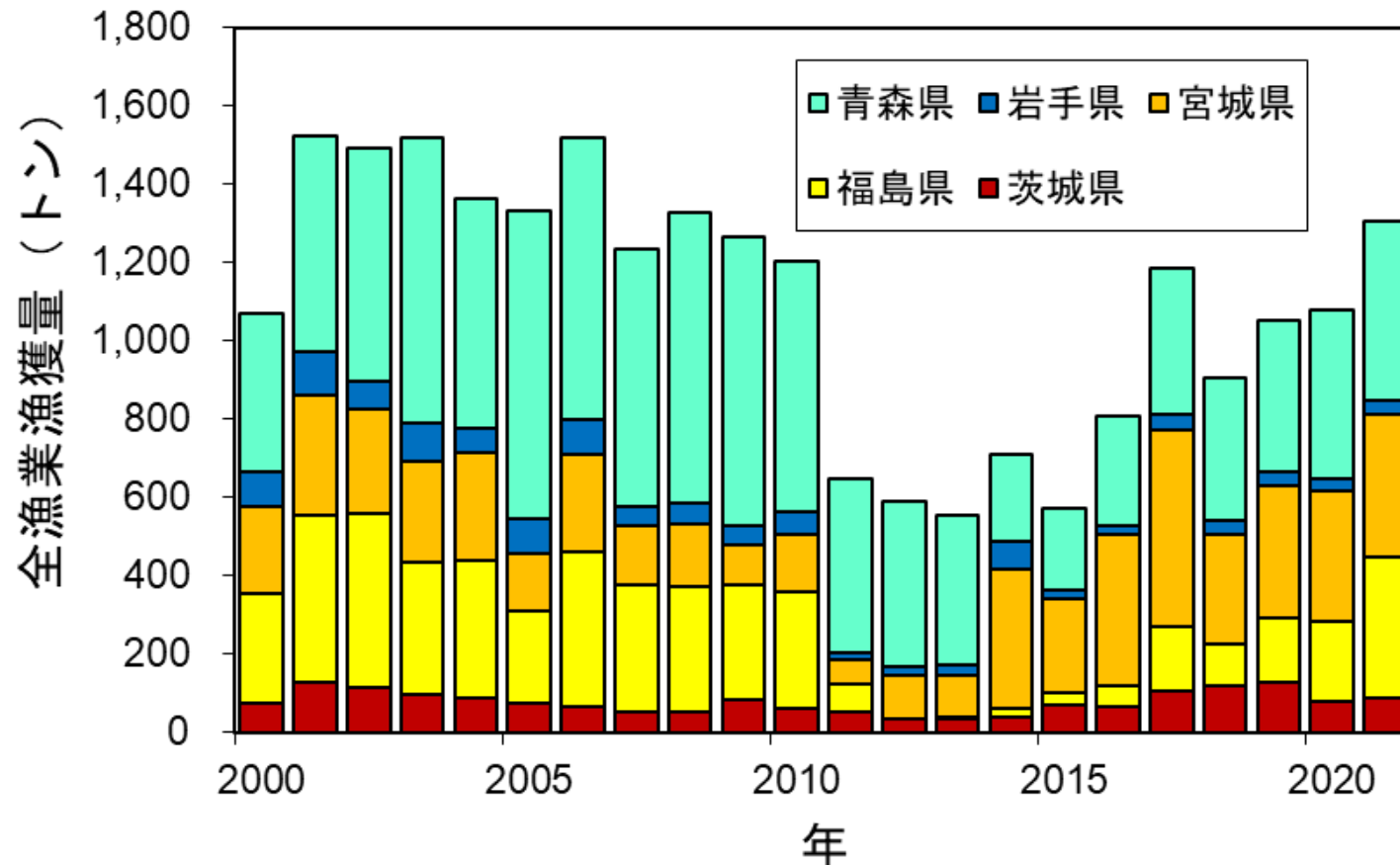


## 生物学的特性

- 寿命：報告されている最大年齢は雌23.6歳、雄19.9歳
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：  
5～6月（津軽海峡東部沿岸）  
5～7月（仙台湾周辺）  
4～8月（福島県中部海域）
- 食性：小型個体は小型魚類や甲殻類、成長につれカレイ科魚類、タラ科魚類、イカナゴ、カタクチイワシ、スルメイカ、トラザメなど
- 捕食者：ミズウオによる捕食例あり

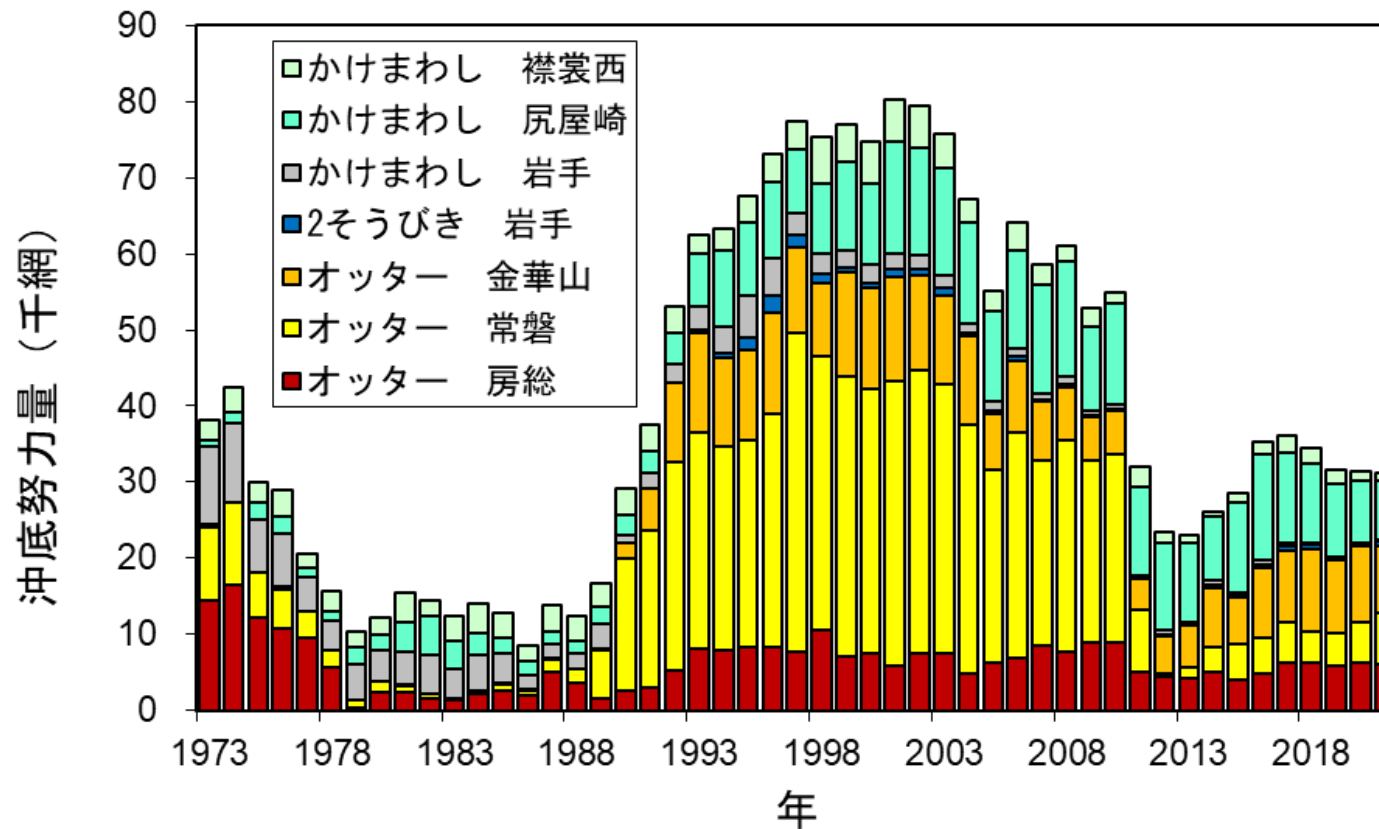
- 主漁場は尻屋崎～襟裳西海区および金華山～房総海区

# 漁獲の動向①



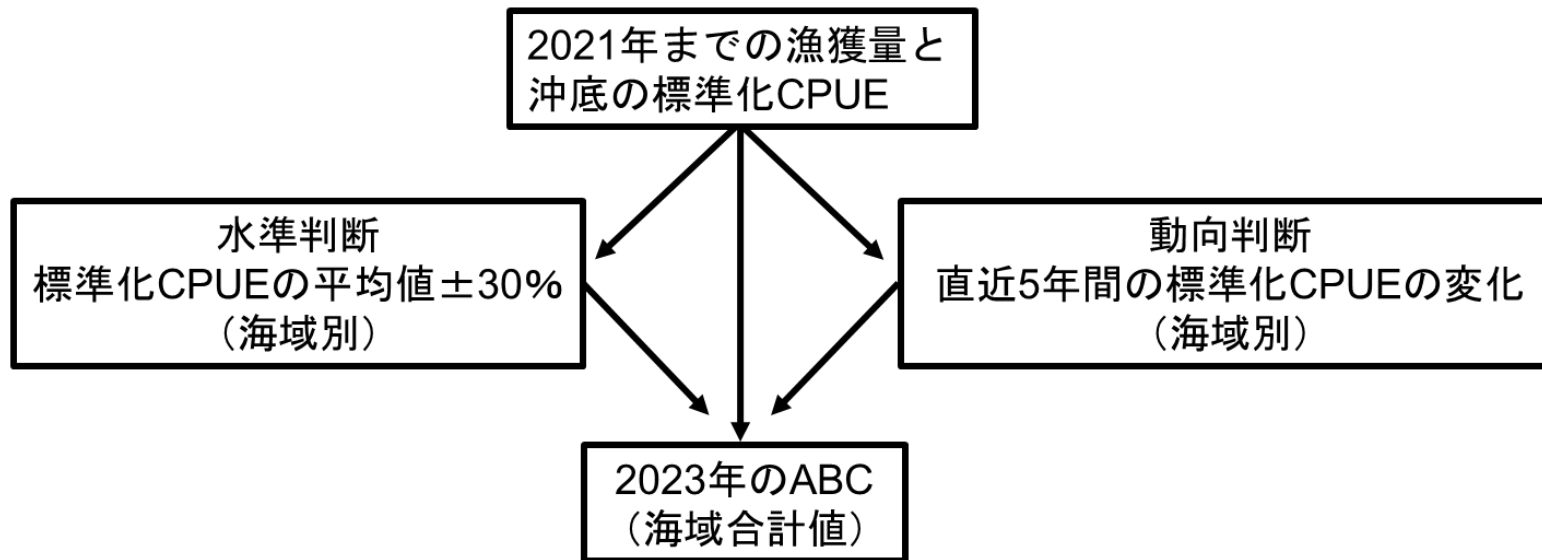
- 東日本大震災後、漁獲量(全漁業種合計)は500トン台に減少
- 近年の漁獲量は回復傾向 2021年の漁獲量：1,306トン
- 主漁法は沖合底びき網漁業(沖底)

## 漁獲の動向②



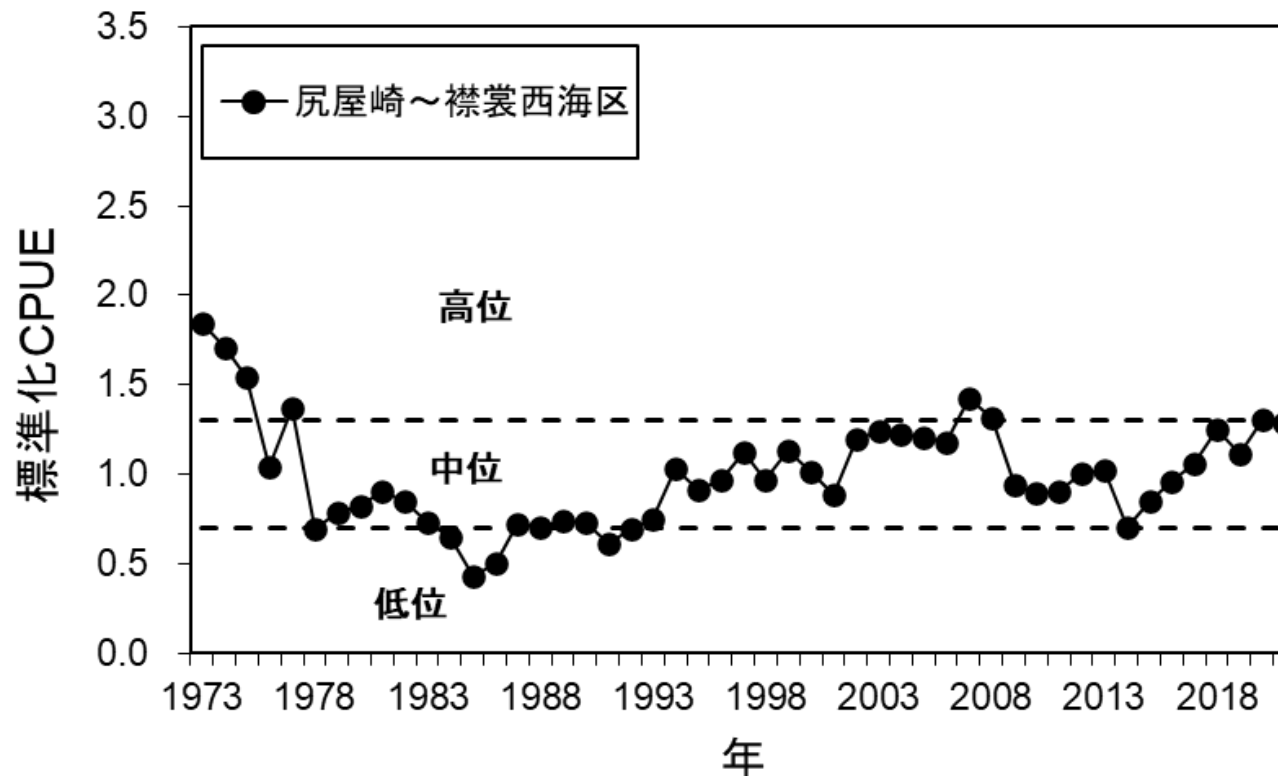
- 東日本大震災後、福島県船操業停止により努力量は大幅減
- 2021年の沖底努力量：3.1万網
- 沖底努力量は有漁網数(キアンコウが漁獲された日の網数を集計したもの)を示す

# 資源評価の流れ



# 資源の動向①

6

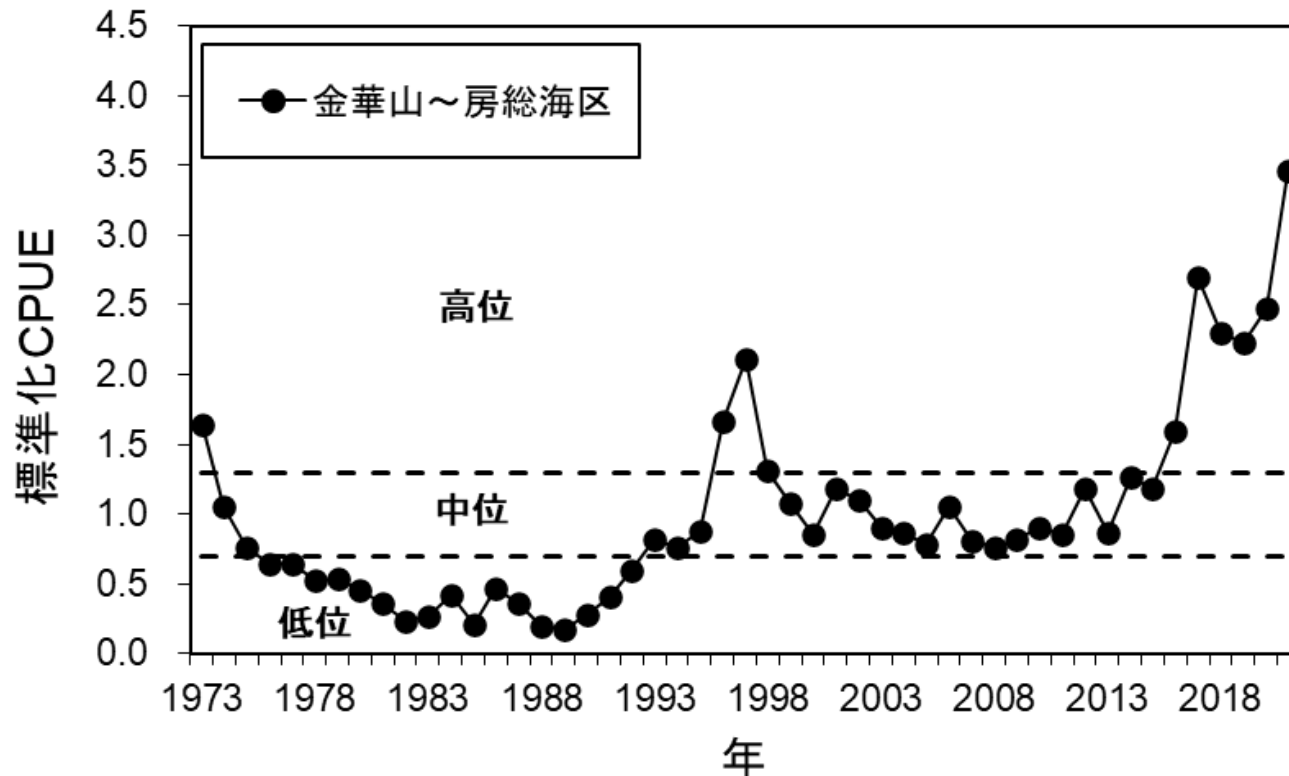


※水準区分 低位／中位：標準化CPUE 平均比0.7倍  
中位／高位：標準化CPUE 平均比1.3倍  
(平均値が1となるよう規格化した標準化CPUEの値で水準判断)

- 青森県～岩手県は尻屋崎～襟裳西海区の標準化CPUEで判断
- 資源水準：2021年の標準化CPUEは平均比1.29倍で「中位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の標準化CPUEの推移から「増加」

※標準化CPUE：CPUE（単位努力量当たり漁獲量）から月や海域等の影響を除いた指標値

## 資源の動向②



※水準区分 低位／中位：標準化CPUE 平均比0.7倍  
中位／高位：標準化CPUE 平均比1.3倍  
(平均値が1となるよう規格化した標準化CPUEの値で水準判断)

- 宮城県～茨城県は金華山～房総海区の標準化CPUEで判断
- 資源水準：2021年の標準化CPUEは平均比3.47倍で「高位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の標準化CPUEの推移から「増加」

# 資源評価のまとめ

- キアンコウ太平洋北部全体の資源水準は「高位」、動向は「増加」
- 標準化CPUEに基づいて海域別に資源状態を求め、全体を判断

## 2023年ABC表

管理基準	Target/Limit	2023年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値(現状のF値からの 増減%)
0.9・青森県～岩手県Ct・1.07	Target	1,180	—	—
1.0・宮城県～茨城県Ct・1.23	Limit	1,470	—	—

- ABC算定規則の2-1) により、 $ABC_{limit} = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- $\delta_1$  : 青森県～岩手県は0.9 (中位水準での推奨値)
- $\delta_1$  : 宮城県～茨城県は1.0 (高位水準での標準値)
- Ct : 2021年の各県漁獲量合計値
- $\gamma_1$  : 1.07、1.23 (標準化CPUEの直近3年間 (2019～2021年) の動向から算定される係数)
- ABCは海域ごとに算定したABCの合計値